

16名の大豊町フレイルサポーターが誕生！

10月17・18日の2日間、大豊町フレイルサポーター養成研修が行われました。フレイルについての勉強や、予防のためのフレイルチェック活動の方法などを学びました。

養成研修1日目は、高知リハビリテーション専門職大学の有光一樹助教がトレーナー（サポーターを養成する方）となり、大豊町のサポーター達にフレイル活動のイロハについてユーモアも交えながら、分かりやすく、丁寧に説明してくださいました。



▲大豊町フレイルサポーター養成研修にて

2日目は、大田口地区の住民さんに集まっていただき、実際にフレイルチェック活動を実践しました。赤と青のシールを貼りながら「こりゃいかん、赤ばっかりじゃ」「えい、これから伸びしろがある」と声を掛け合いながら楽しい時間を過ごしました。

また今回の研修には、高知県で初めてフレイル予防活動に取り組んでいる仁淀川町から、5名のフレイルサポーターが応援に来てくださり、2日間を通して交流の機会を持つことができました。

鮮やかな黄緑色のTシャツが大豊町フレイルサポーターの目印です。これから、勉強会を重ねて16名のサポーターが、地域の住民さんのフレイルチェック活動に出向いていきますので、どうぞよろしくお願いします。



▲2日目のフレイルチェック活動の様子

生活支援コーディネーター通信

地域のお宝をご紹介します

10月16日に、西久保地区で防災学習が実施されました。今回は、①お薬手帳携帯の必要性について、②災害時の食料品備蓄について、③消火訓練についてをテーマとして、勉強会が行われました。

消火訓練は、嶺北消防署の方が、実際に火事が起こった際にどのように対応したらいいのかなどをわかりやすく説明をされていました。

参加されていた方からは、「家に消火器がないので購入したい」「消火器が思った以上に重くて使えないので、いざという時のために使えるように練習しないといけない」などの声がたくさん聞かれました。



▲消火訓練の様子



▲保澤和美さん（西久保 右から3番目）が講師を務められ、8名の方が参加されました



生活支援コーディネーターの北川亜里亜です。町内での、地域の繋がりや活動といった“お宝”をご存じの方は、ぜひ教えてください。よろしくお願いします。

連絡先：080-1141-9595

大豊町消防団が無線通信訓練を実施

無線通信訓練を実施

11月7日（日）に、大豊町消防団無線通信訓練が実施されました。大豊町消防団は、7分団14部で構成されています。それぞれの部が有事の際に、本部とスムーズな連携や情報伝達を図るために、毎年実施している訓練です。

今回は、近年多発している大雨災害時の出動を想定して行いました。各部は、管轄地域を巡回し、「道路崩落のため、孤立集落がある」「〇世帯〇人を避難所へ誘導した」などの被災時に起こりうる状況無線通信により本部へ報告、また、必要に応じて、IP無線による画像データの送付を行うなど、有事に備えて訓練をしました。



各部、巡回の上、被害の有無について報告をお願いします。

消防団本部から、訓練想定内容を連絡

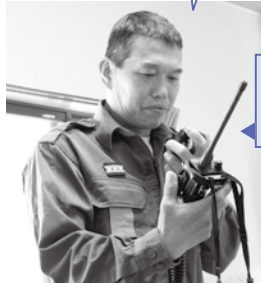
各部から本部へ状況を連絡

巡回部隊から現場状況を報告

土砂崩れが見受けられますが、車両が通るのに問題はありません。ほか、異常ありません。



こちら、北川部。班に分かれて巡回を行います。



▶天坪分団北川部のみなさん訓練の取材にご協力いただきありがとうございます。地域の話なども知れて勉強になりました！（副主任・市田）



ゆとりすと放送をお任せしました！

10月20日から3日間、中学2年生の職場体験が、町内で行われました。

役場での仕事を学んだ小笠原諒美さんに、ゆとりすと放送の中で、「職場体験の感想」と「朝の放送のあいさつ」のアナウンスをしてもらいました。自分で原稿を考え、諒美さんらしい放送をしてくれました。



無線訓練の流れ

